

2008年
3月15日
No.40

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融一般労働組合滋賀支部)
TEL・FAX 077-522-7868

安心して、働きたい！ 暮らしたい！ 今、必要なのは「ディーセント・ワーク」(人間らしい仕事)

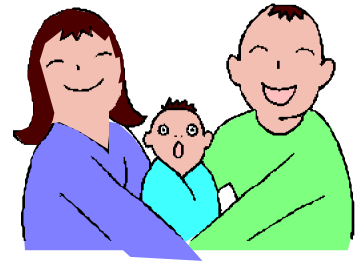
ILO(国際労働機関)は「自由・公平・保障・人間としての尊厳が確保された条件のもとで、ディーセントで生産的な仕事を得る機会を促進すること」を今世紀の最重要課題としています。そして、ディーセント・ワークの欠如として、「労働者の貧困化」「特に女性は高度に不安定なインフォーマル経済で働くこと」「若年層の失業」などをあげており、日本の非正規雇用労働者にこそ「ディーセント・ワーク」(人間らしい仕事)の実現が求められています。

女性も男性も仕事も家庭も大事にしたい 「均等待遇」実現でワーク・ライフ・バランスを

私たちは人間らしい仕事と生活の両立が可能となるようなワーク・ライフ・バランス社会の実現を求めています。そのためにはそれを支える制度やシステムを

構築しなければなりません。

男性か女性、正規か非正規かを問わず、すべての労働者にいま最も急がれる課題は「労働時間の短縮」と「均等待遇の実現」です。



労働時間規制を緩和する方向でなく、強化する方向こそがワーク・ライフ・バランス実現への第一歩です。また「均等待遇」が保障されてこそ、ライフスタイルに合わせて、パートタイム労働を選択したり、フルタイム労働を選択したりすることが可能になるのです。

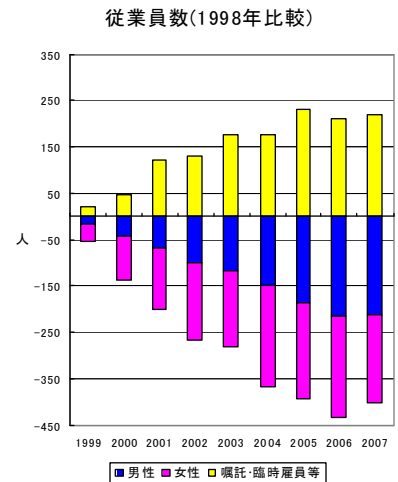
いま、多くのパートタイマーや派遣など非正規の仲間が組合に入り、正規の仲間と共同して、労働条件の改善に向けがんばっています。

正規から非正規へ置き換え進む

女性行員 $\Delta 189$ 人 ($\Delta 18.7\%$)
嘱託・臨時雇員など 219人 (31.5%)

滋賀銀行の従業員数は、2007年3月現在3,131人で、その内、男性行員1,396人、女性行員821人、嘱託・臨時雇員など914人です。

10年前と比較すると、従業員数は $\Delta 183$ 人($\Delta 5.5\%$)で、その内、男性行員 $\Delta 213$ 人($\Delta 13.2\%$)、女性行員 $\Delta 189$ 人($\Delta 18.7\%$)、嘱託・臨時雇員など219人(31.5%)で、正規から非正規へ大幅に置き換えが進みました。



行ってきました



この写真は、三重県津市の結城神社のしだれ梅です。紅白300本の見事なコントラストと、枝から枝へと飛び交うメジロの風景が、印象深かった。水彩画でも描きたい気分させてくれたひと時でした。奥村

職場の声

「事務ミス記録簿」
コスト、挽回策まで
難しいことはしたくない

ミスをすると「顛末書」を、書かされます。パソコンに書式があり、それに書き込みます。かかったコスト、用紙代や役席の決裁に要した人件費まで書かなければなりません。そのうえ「顛末書」を出すときに、そのコストをどうして挽回するのか聞かれます。ミスをすることはよいことではありませんが、ミスをしないように、難しいことはできるだけにしたいようになってしまいます。